



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社デザインワン・ジャパン 上場取引所 東
コード番号 6048 URL <https://www.designone.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 靖雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 田中 誠 (TEL) 050(5536)1555
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の連結業績(2024年9月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	378	△35.3	△90	—	△86	—	△82	—
2024年8月期第1四半期	584	△4.6	△30	—	△29	—	△29	—

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 △52百万円(—%) 2024年8月期第1四半期 △24百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	△5.56	—
2024年8月期第1四半期	△2.02	—

(注) 2024年8月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。なお、2025年8月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式は存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	3,200	2,804	87.6
2024年8月期	3,311	2,857	86.3

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 2,804百万円 2024年8月期 2,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,607	△29.0	△253	—	△243	—	△247	—	△16.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名) - 、除外 1 社(社名) オコマリ株式会社

(注) 詳細は、添付資料8ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年8月期1Q	15,202,100株	2024年8月期	15,202,100株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年8月期1Q	426,258株	2024年8月期	426,258株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年8月期1Q	14,775,842株	2024年8月期1Q	14,747,642株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記載につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の回復やインバウンド需要の増加などにより回復傾向にあります。その一方で、国際情勢不安や原料・エネルギー価格の高騰、円相場下落などの要因により、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「Webマーケティング技術」や「システム開発力」を活かし、店舗情報口コミサイト「エキテン」を中心にサービスを提供するとともに、子会社を通じた事業規模の拡大を促進いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度に実施したグループ再編の影響により、378,124千円（前年同四半期比35.3%減）となりました。利益につきましては、当社グループの主力事業である店舗情報口コミサイト「エキテン」が回復途上であることから、営業損益は90,375千円の損失（前年同四半期は30,488千円の損失）、経常損益は86,010千円の損失（前年同四半期は29,023千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は82,155千円の損失（前年同四半期は29,829千円の損失）となりました。

(インターネットメディア事業)

当社グループの主力事業である店舗情報口コミサイト「エキテン」におきましては、新規店舗の獲得を進めるために様々な施策に取り組んでおります。商品力の強化においては、他サービスとの連携強化に加えて、新たなサービス・機能のリリースに向けたシステム開発に継続的に取り組みました。販売面での取り組みとしては、効率的な営業活動に向けたシステム改修、および法人等の大口顧客への取り組み強化などを行いました。これらの施策によって、これまで継続していた有料店舗会員数の減少に底打ち感が出てきました。

その結果、当第1四半期連結累計期間末における「エキテン」の無料店舗会員数は327,441店舗、有料店舗会員数は14,011店舗（前連結会計年度末比12店舗減少）となりました。

しかしながら、前連結会計年度において、期を通じて有料店舗会員数の減少が続いたため、インターネットメディア事業の売上高は288,253千円（前年同四半期比22.7%減）、セグメント損益につきましては44,807千円の損失（前年同四半期は7,009千円の利益）となりました。

(DXソリューション事業)

売上高につきましては、ベトナムのシステム開発子会社であるNitro Tech Asia Inc Co. Ltd.を活用したオフショア開発事業が、厳しい状況だった前連結会計年度から復調してきており、Web制作・受託開発・ホスティングサービスなどを展開している株式会社イー・ネットワークスも堅調に推移いたしました。その一方で、前連結会計年度に子会社であった株式会社DEECHを株式譲渡した影響により、セグメント全体での売上高は大きく減少いたしました。

この結果、DXソリューション事業の売上高は88,282千円（前年同四半期比56.1%減）、セグメント損益は34,938千円の損失（前年同四半期はセグメント損失19,442千円）となりました。

(HRソリューション事業)

ナイトワーク出身者を対象とした人材紹介サービス事業を展開していた株式会社昼jobにつきましては、グループ再編の一環として当第1四半期連結累計期間の9月に事業譲渡を行いました。

この結果、HRソリューション事業の売上高は7,188千円（前年同四半期比46.7%減）、セグメント利益は2,569千円（前年同四半期はセグメント損失5,437千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ110,906千円減少し、3,200,678千円となりました。

これは主に、投資その他の資産その他の増加（前連結会計年度末比96,218千円増）及び、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比30,256千円増）等がありましたが、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比185,947千円減）及び、流動資産その他の減少（前連結会計年度末比54,472千円減）等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ58,200千円減少し、396,186千円となりました。

これは主に、賞与引当金の増加(前連結会計年度末比23,626千円増)等がありましたが、流動負債その他の減少(前連結会計年度末比46,125千円減)及び、長期借入金の減少(前連結会計年度末比31,265千円減)等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ52,705千円減少し、2,804,492千円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金の増加(前連結会計年度比23,604千円増)等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による利益剰余金の減少(前連結会計年度末比82,155千円減)等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年10月11日の「2024年8月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,034,748	1,848,801
売掛金	122,234	110,364
契約資産	5,064	6,810
有価証券	400,000	400,000
仕掛品	148	198
貯蔵品	2,427	3,120
その他	249,117	194,645
貸倒引当金	△25,251	△24,316
流動資産合計	2,788,489	2,539,623
固定資産		
有形固定資産	18,171	29,067
無形固定資産	5,085	4,590
投資その他の資産		
投資有価証券	396,440	426,696
その他	108,101	204,320
貸倒引当金	△4,703	△3,620
投資その他の資産合計	499,838	627,396
固定資産合計	523,095	661,055
資産合計	3,311,585	3,200,678

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,350	1,080
1年内返済予定の長期借入金	13,207	5,724
未払金	175,538	158,010
未払法人税等	8,028	7,350
役員賞与引当金	157	719
賞与引当金	8,890	32,517
ポイント引当金	3,507	3,129
その他	146,603	100,478
流動負債合計	357,282	309,009
固定負債		
長期借入金	58,386	27,121
その他	38,718	60,055
固定負債合計	97,104	87,176
負債合計	454,386	396,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	649,422	649,422
資本剰余金	630,404	630,404
利益剰余金	1,552,828	1,470,673
自己株式	△100,186	△100,186
株主資本合計	2,732,468	2,650,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,241	98,846
為替換算調整勘定	49,487	55,332
その他の包括利益累計額合計	124,729	154,179
純資産合計	2,857,198	2,804,492
負債純資産合計	3,311,585	3,200,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2024年11月30日)
売上高	584,045	378,124
売上原価	184,996	103,750
売上総利益	399,048	274,373
販売費及び一般管理費	429,537	364,749
営業損失(△)	△30,488	△90,375
営業外収益		
受取利息	4,582	3,105
その他	866	1,613
営業外収益合計	5,448	4,719
営業外費用		
支払利息	707	193
貸倒損失	9	-
投資事業組合運用損	2,610	-
為替差損	103	160
その他	552	-
営業外費用合計	3,984	354
経常損失(△)	△29,023	△86,010
特別利益		
事業譲渡益	-	12,000
その他	-	98
特別利益合計	-	12,098
特別損失		
固定資産除却損	-	40
特別損失合計	-	40
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,023	△73,951
法人税、住民税及び事業税	2,500	4,558
法人税等調整額	△1,693	3,645
法人税等合計	806	8,204
四半期純損失(△)	△29,829	△82,155
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,829	△82,155

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純損失(△)	△29,829	△82,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,558	23,604
為替換算調整勘定	374	5,844
その他の包括利益合計	4,933	29,449
四半期包括利益	△24,896	△52,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,896	△52,705

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において当社の連結子会社であったオコマリ株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取り扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用されますが、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	インターネ ットメディア 事業	DXソリュー ション事業	HRソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	373,103	198,051	12,890	584,045	—	584,045
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,937	600	3,537	△3,537	—
計	373,103	200,988	13,490	587,582	△3,537	584,045
セグメント利益又は損 失(△)	7,009	△19,442	△5,437	△17,871	△12,617	△30,488

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△12,617千円には、セグメント間取引消去4,283千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△16,900千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	インターネ ットメディア 事業	DXソリュー ション事業	HRソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	288,253	82,683	7,188	378,124	—	378,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,598	—	5,598	△5,598	—
計	288,253	88,282	7,188	383,723	△5,598	378,124
セグメント利益又は損 失(△)	△44,807	△34,938	2,569	△77,176	△13,199	△90,375

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,199千円には、セグメント間取引消去1,151千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△14,350千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	2,786千円	1,198千円
のれんの償却額	3,831千円	258千円